

## 平成26年4月の「きになる通信」

日用品こだわる楽しみ — 平均購入単価 6年ぶり上昇

柔軟剤、香り長く 浴室、煙で防カビ



日用品で少し単価の高い商品を選ぶ消費者が増えています。

香りが長く楽しめる柔軟剤や、煙で簡単に浴室のカビ発生を防ぐ製品などが人気を集め、2013年の主要日用品の平均単価は6年ぶりに前年を上回りました。

景気回復で消費者心理が上向き中、暮らしの中でもこだわりを見つけ満足感を求める動きが広がっているようです。

ライオンが2012年に発売した「ルックおふろの防カビくん煙剤」（店頭想定は500円前後）は、使用すると浴室のカビ発生が抑制でき、天井などのカビ掃除が容易になります。一般的なカビ取り剤100円程度高いですが、2013年末までに累計700万個売れました。

（2014年3月7日 日本経済新聞記事から抜粋）

中古マンション 私好みに改造 間取り広く・キッチンこだわり

若い世代安さ評価 「新築信仰」薄く



中古マンションを購入する際に、間取りやキッチンなどの設備を大幅に変更する「リノベーション」が若い世代を中心に人気を集めています。

自分好みの部屋をつくれるうえ、新築を購入するより2～3割安くなります。若年層は中古への抵抗感も少なく、「新築信仰」が根強かった日本の住宅市場も変わりつつあるようです。

リノベーションとリフォーム

リフォームが壊れた水回りなどの設備や内装の改修に留まるのに対し、リノベーションは間取りから抜本的に見直して全く違う部屋に造り替えます。キッチンや壁、天井を取り払った後、好きな間取りに変更できます。

（2014年3月11日 日本経済新聞記事から抜粋）

## 借りた家、私好みに改修 — 国交省、賃貸契約に新方式

### 退去時はそのまま 家主負担も軽減、空き家活用



国土交通省は個人が住宅を貸し借りしやすくする新たな仕組みを導入します。

入居者がキッチンなどの設備や内装を自由に変更して、そのまま退去する賃貸契約を認めます。家主による清掃や修繕も不要にして、貸し出す際の負担を軽くします。

空き家の増加が問題となるなか、貸し手と借り手の双方にメリットのある契約方式を普及し、住宅の有効活用につなげます。

国交省は、家主が周辺相場よりも安い家賃で入居者を募集できるようになると期待しています。国交省が中古住宅の賃貸流通に力を入れるのは、空き家の増加に歯止めをかける狙いがあります。

全国の空き家は2008年時点で約756万戸と10年前から3割以上増え、全住宅に占める割合は13%に達しています。

(2014年3月14日 日本経済新聞記事から抜粋)

